

新しい商業施設が開店

フレンドタウン日野と平和堂日野店

4月10日(木)、フレンドタウン日野のオープニングセレモニーが行われ、日野祭曳山囃子方交流会の皆さんが祭囃子で花を添えられました。フレンドタウン日野は、フレンドマート、モスバーガー、コメリ、ココスなどの商店が集まったショッピングセンターです。セレモニーは開店を心待ちにするお客さんを前に行われ、テープカットやハトの形をした風船が放たれ、開店を祝いました。



▲軽快な祭囃子とともに開店しました

◀シルバー人材センターのブースでは手芸部が活動されています(大窪の平和堂日野店)



また、大窪の平和堂日野店も4月17日(土)に改装され営業されました。日野町商工会や日野町シルバー人材センター、着物再生プロジェクトひのきの会などが集うギャラリースペースが設けられ、買い物だけではなく、憩いの場として生まれ変わりました。

例年になく見事な花つき

鎌掛ホンシャクナゲ群落

今年も鎌掛のしゃくなげ溪で美しいホンシャクナゲが咲き誇りました。しゃくなげ溪は、高山植物であるホンシャクナゲが、低地に群生して咲いていることが大変珍しく、昭和6年に国の天然記念物に指定されました。4月29日から5月6日まで期間中には、県内外から約6千数百人の方が観光に訪れました。今年は、例年になくたくさんの方が咲き、訪れた方は「見事だったわ」「こんなにたくさんホンシャクナゲは初めて見た」と感動しておられました。



▲たくさんの方がホンシャクナゲを楽しみました

みんなで楽しく こどもの日を祝おう

各公民館でこどもの日のイベントを開催

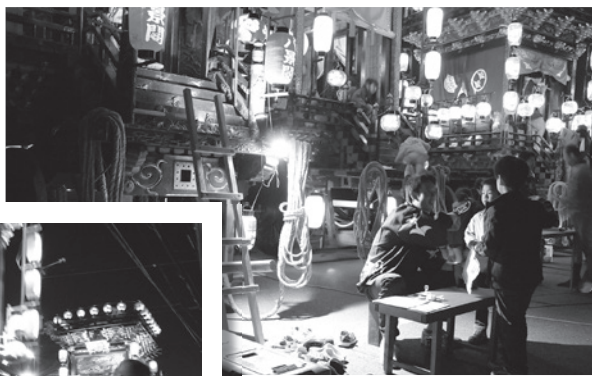
5月5日はこどもの日。町内の各公民館で5月にこどもの日を祝うイベントが行われ、たくさんのお子さんが楽しみました。南比都佐公民館では、5月5日(祝)に子ども大会が行われ、地域の子ども達約70名が竹パン作りや風船とばしを楽しみました。竹に巻きつけたパン生地を炭であぶりながら焼く竹パンは、子ども達に大人気。炭を囲みながら「まだかな」「もういいかな」とワクワクしながら竹パンを作っていました。



▲竹パンは「おいしい」と好評でした

風船とばしでは、メッセージがくくりつけられた風船を一斉に空へ飛ばしました

日野祭



▲恒例のスタンプラリーも行われました



◀曳山を「てこ」の原理で車輪を浮かせて回転させる「ぎんぎりまわし」

動く芸術品 「曳山」の美しさ 宵宮

5月2日(金)、提灯などが灯された曳山が共演する日野祭の宵宮が行われました。今年約2千人の方が訪れ、日中の様子とはひと味違う幻想的な姿に「うわあきれい」という感嘆の声が上がっていました。札の辻やまちかど感応館(旧正野薬店)には何基もの曳山が出揃い、軽快な祭囃子が祭気分を盛り上げました。

けんらん 絢爛豪華な祭りに町が沸く

本祭

5月3日(祝)、800年以上の伝統ある日野祭が盛大に催行されました。宵宮に引き続き天気に恵まれ、約2万9千人の方が馬見岡綿向神社に訪れました。今年、下之番(大窪・松尾・河原)の神輿が113年ぶりに「お洗濯」され、お目見えすると周りから拍手が巻き起こりました。神輿は、1度高く掲げられると、各曳山から奏でられる祭囃子や「ヤレヤレ、ドントヤレ」という掛け声とともに勢いよく境内を出発しました。日野祭にあわせ、祭の棧敷窓アートも開催され、日野の町ならではの棧敷窓の風景とともに工芸作家の作品を楽しむことができました。



▲「お洗濯」され美しくなった下之番の神輿

◀上野田の五社神社で行われる神子盃の儀。この儀式から日野祭が始まります



▲曳山が次々と宮入します



▲曳山、神輿でにぎわった境内